

(別紙)

新 旧 対 照 表

新	旧
<p>1 略</p> <p>2 地域再生計画の作成主体の名称 広島県 竹原市 三原市 <u>東広島市</u></p> <p>3 地域再生計画の区域 <u>竹原市、三原市及び東広島市の区域の一部（竹原港、忠海港、安芸津港、長浜漁港、能地漁港）</u></p> <p>4 地域再生計画の目標 竹原港、忠海港、<u>安芸津港</u>、長浜漁港および能地漁港は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置している。 竹原港は、県内の島嶼部を結ぶフェリーや高速船が1日41往復しており、四国方面へも1日18便（竹原港～愛媛県波方港）フェリーが往復しているなど、島民や産業関係者、観光客の重要な交通・物流拠点として、重要な役割を果たしている。また、忠海港、<u>安芸津港</u>、長浜漁港、能地漁港は、古くから水産業が発展してきた。 しかし、近年では、各港とも沿岸都市部への人口・産業の集中により、急速な過疎化と少子高齢化が進行している。他方、これら港湾や漁港の施設整備は、こうした地域を取り巻く状況の変化に対応できておらず、防波堤の老朽化による港内静穏度の不足や小型船だまり整備の遅れという問題が発生している。また、高齢者が占める定期航路利用者や漁業者といった港の利用者は、船の乗降時や構内作業等において危険な状況にさらされ、非効率な漁業活動を強いられている。 こうした状況を打開するため、竹原港では、老朽化した防波堤を改良し、機能強化を図ることにより、50隻の小型船舶を安全に収容できる係留場所を確保するとともに、港内を発着する定期船の安全な利用を確保する。忠海港では、物揚場等の小型船だまりを整備することにより、17隻の小型船舶の利用を可能とし、安全で効率的な漁業活動を図る。安芸津港では、防波堤の新設により、46隻の小型船舶を安全に収容できる係</p>	<p>1 略</p> <p>2 地域再生計画の作成主体の名称 広島県 竹原市 三原市</p> <p>3 地域再生計画の区域 <u>竹原市及び三原市の区域の一部（竹原港、忠海港、長浜漁港、能地漁港）</u></p> <p>4 地域再生計画の目標 竹原港、忠海港、長浜漁港および能地漁港は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置している。 竹原港は、県内の島嶼部を結ぶフェリーや高速船が1日41往復しており、四国方面へも1日18便（竹原港～愛媛県波方港）フェリーが往復しているなど、島民や産業関係者、観光客の重要な交通・物流拠点として、重要な役割を果たしている。また、忠海港、長浜漁港、能地漁港は、古くから水産業が発展してきた。 しかし、近年では、各港とも沿岸都市部への人口・産業の集中により、急速な過疎化と少子高齢化が進行している。他方、これら港湾や漁港の施設整備は、こうした地域を取り巻く状況の変化に対応できておらず、防波堤の老朽化による港内静穏度の不足や小型船だまり整備の遅れという問題が発生している。また、高齢者が占める定期航路利用者や漁業者といった港の利用者は、船の乗降時や構内作業等において危険な状況にさらされ、非効率な漁業活動を強いられている。 こうした状況を打開するため、竹原港では、老朽化した防波堤を改良し、機能強化を図ることにより、50隻の小型船舶を安全に収容できる係留場所を確保するとともに、港内を発着する定期船の安全な利用を確保する。忠海港では、物揚場等の小型船だまりを整備することにより、17隻の小型船舶の利用を可能とし、安全で効率的な漁業活動を図る。長浜漁港では、竹原港と同様、老朽化した防波堤を改良し、機能強化を図る</p>

新	旧
<p>留場所を確保する。長浜漁港では、竹原港と同様、老朽化した防波堤を改良し、機能強化を図ることにより、7隻の漁船を安全に収容できる係留場所を確保する。能地漁港では、防波堤、物揚場、道路、浮棧橋、橋梁を一体的に整備し37隻の漁船を安全に収容できる係留場所を確保するとともに、港内に混在する漁船と遊漁船を分離収容するフィッシャリーナを整備し72隻の遊漁船の係留場所を確保することで、安全・安心な漁業活動の支援を図る。</p> <p>こうした竹原港、忠海港、安芸津港、長浜漁港及び能地漁港が連携して整備を行い、船舶の安全な係留場所を確保することで、漁業者や住民および観光客による安全・安心なみなとの利用を可能とする。また、これらの整備により確保される係留施設から、安定的な水産物の陸揚げが可能となり、現在、実施している「みなとオアシス」のイベントでの、水産物販売に供する水産物の提供も見込まれる。こうした港の連携整備に加え、地域活性化方策として「みなとオアシス」を核としたイベントを実施することで、体験学習を通じた住民参加や観光客の増加が見込まれ、みなとを中心とした地域の賑わいの創出を図る。</p> <p>(目標)</p> <p>①竹原港、忠海港、安芸津港、長浜漁港、能地漁港において、各港の安全で安心な利用の確保を図るため、<u>229隻</u>の小型船舶を安全に収容できる係留場所を確保する。</p> <p>②みなとオアシスのイベント参加者数を1,000人とする。<u>(平成19年度実績800人)</u></p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5-1 全体の概要</p> <p>竹原港および長浜漁港では、老朽化した防波堤を改良することにより、それぞれ50隻、7隻の船舶が安全に収容できる係留場所を確保する。また、忠海港では、17隻収容できる係留施設と、その係留施設へのアクセスを目的とした臨港道路を整備することで、漁業活動の効率化の支援を図る。</p> <p>安芸津港では、<u>防波堤の新設により、46隻の小型船舶を安全に収容できる係留場所を確保する。</u></p> <p>能地漁港では、防波堤、物揚場、道路、浮棧橋、橋梁を整備し37隻の</p>	<p>ことにより、7隻の漁船を安全に収容できる係留場所を確保する。能地漁港では、防波堤、物揚場、道路、浮棧橋、橋梁を一体的に整備し37隻の漁船を安全に収容できる係留場所を確保するとともに、港内に混在する漁船と遊漁船を分離収容するフィッシャリーナを整備し72隻の遊漁船の係留場所を確保することで、安全・安心な漁業活動の支援を図る。</p> <p>こうした竹原港、忠海港、長浜漁港及び能地漁港が連携して整備を行い、船舶の安全な係留場所を確保することで、漁業者や住民および観光客による安全・安心なみなとの利用を可能とする。また、これらの整備により確保される係留施設から、安定的な水産物の陸揚げが可能となり、現在、実施している「みなとオアシス」のイベントでの、水産物販売に供する水産物の提供も見込まれる。こうした港の連携整備に加え、地域活性化方策として「みなとオアシス」を核としたイベントを実施することで、体験学習を通じた住民参加や観光客の増加が見込まれ、みなとを中心とした地域の賑わいの創出を図る。</p> <p>(目標)</p> <p>①竹原港、忠海港、長浜漁港、能地漁港において、各港の安全で安心な利用の確保を図るため、<u>183隻</u>の小型船舶を安全に収容できる係留場所を確保する。</p> <p>②みなとオアシスのイベント参加者数を1,000人とする。<u>(現在300人)</u></p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5-1 全体の概要</p> <p>竹原港および長浜漁港では、老朽化した防波堤を改良することにより、それぞれ50隻、7隻の船舶が安全に収容できる係留場所を確保する。また、忠海港では、17隻収容できる係留施設と、その係留施設へのアクセスを目的とした臨港道路を整備することで、漁業活動の効率化の支援を図る。</p> <p>能地漁港では、防波堤、物揚場、道路、浮棧橋、橋梁を整備し37隻の船舶が安全に収容できる係留場所を確保することで漁港施設の機能強化を図り、あわせて小型船舶と漁船とを分離収容するフィッシャリーナを整備し72隻の遊漁船の係留場所を確保することで、安全・安心な漁業活</p>

新	旧																		
<p>船舶が安全に収容できる係留場所を確保することで漁港施設の機能強化を図り、あわせて小型船舶と漁船とを分離収容するフィッシャリーナを整備し72隻の遊漁船の係留場所を確保することで、安全・安心な漁業活動を支援する。</p> <p>5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業 港整備交付金を活用する事業</p> <p>整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。 [施設の種類の事業主体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設（竹原港，忠海港） 広島県 ・港湾施設（安芸津港） 東広島市 ・漁港施設（長浜漁港，能地漁港） 竹原市，三原市 <p>[整備量]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設・・・防波堤（改良），防波堤，物揚場，道路 ・漁港施設・・・防波堤（改良），防波堤，物揚場，道路，浮棧橋，橋梁 <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設 平成18年度～平成22年度 ・漁港施設 平成19年度～平成22年度 <p>[事業費]</p> <table border="0"> <tr> <td>・総事業費</td> <td>1,251,400千円</td> <td>(うち交付金</td> <td>529,300千円)</td> </tr> <tr> <td>・港湾施設</td> <td>964,000千円</td> <td>(うち交付金</td> <td>385,600千円)</td> </tr> <tr> <td>・漁港施設</td> <td>287,400千円</td> <td>(うち交付金</td> <td>143,700千円)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">以下略</p>	・総事業費	1,251,400千円	(うち交付金	529,300千円)	・港湾施設	964,000千円	(うち交付金	385,600千円)	・漁港施設	287,400千円	(うち交付金	143,700千円)	<p>動を支援する。</p> <p>5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業 港整備交付金を活用する事業</p> <p>整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。 [施設の種類の事業主体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設（竹原港，忠海港） 広島県 ・漁港施設（長浜漁港，能地漁港） 竹原市，三原市 <p>[整備量]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設・・・防波堤（改良），物揚場，道路 ・漁港施設・・・防波堤（改良），防波堤，物揚場，道路，浮棧橋，橋梁 <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設 平成18年度～平成22年度 ・漁港施設 平成19年度～平成22年度 <p>[事業費]</p> <table border="0"> <tr> <td>・総事業費</td> <td>1,101,400千円</td> </tr> <tr> <td>・港湾施設</td> <td>814,000千円 (うち交付金 325,600千円)</td> </tr> <tr> <td>・漁港施設</td> <td>287,400千円 (うち交付金 143,700千円)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">以下略</p>	・総事業費	1,101,400千円	・港湾施設	814,000千円 (うち交付金 325,600千円)	・漁港施設	287,400千円 (うち交付金 143,700千円)
・総事業費	1,251,400千円	(うち交付金	529,300千円)																
・港湾施設	964,000千円	(うち交付金	385,600千円)																
・漁港施設	287,400千円	(うち交付金	143,700千円)																
・総事業費	1,101,400千円																		
・港湾施設	814,000千円 (うち交付金 325,600千円)																		
・漁港施設	287,400千円 (うち交付金 143,700千円)																		